



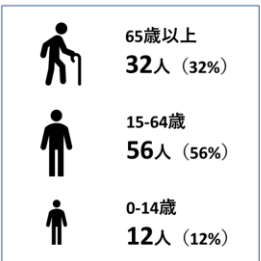
# 信州未来共創戦略～みんなで作る2050年の長野～(仮称)案のポイント

## 7がけ社会がやってくる！？

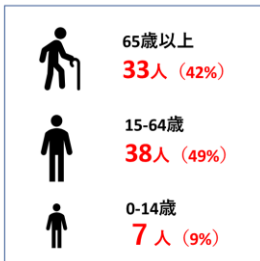
### 2050年の長野県は・・・

- 人口は2001年のピーク時から約3割減少(159万人)
- ただちに出生率が回復でも、しばらく人口減少は続く
- 高齢化は4割超
- 現在、若者、特に女性は転出超過が深刻

2020年  
長野県が100人の村とすると...



2050年  
総人口が78人の村となり...



## そうなる・・・

- 産業の成長力低下⇒賃金減少!?
- 将来世代の医療・介護等の負担増!?
- 学校や公共交通、スーパー等がなくなる!?
- など身の回りに影響

## 何が原因？

- 閉鎖的な社会で若者が生きづらい！
- 地元で働きたい職場がない！
- 子育てが大変！ など

## ピンチをチャンスに！

- 人材不足は誰もが活躍できる可能性！
- AI・ロボットで暮らしを豊かに！
- 新たなビジネスチャンスに！
- まちの再生を促すきっかけに！

## 人口減少の事実を共有し、これまでの当たり前を考え直そう！

- 若い人たちが自分らしく、いきいきと活躍している社会
- 性別に関わらず誰もが自分らしく生きられるジェンダー平等の社会
- 「宅配物をコンビニで受け取る」など、少しの我慢をみんなで分かち合う社会 など

## 行政、企業、地域、県民みんなで取り組む方向性



## # 寛容性

- ✓ 若者や女性の地域での生きづらさ・息苦しさ
- ✓ 女性の意見が反映されないと、地域や企業が選ばれなくなる

### ⇒若者・女性から選ばれる寛容な社会づくり

- ・若者の社会参加の促進
- ・性別による固定的役割分担の解消
- ・共育でも当たり前な働き方への変革
- ・特色を活かした個性や能力に合った学びなど

## # 移住 # つながり

- ✓ 移住したい県として常にトップクラス
- ✓ 地域の寛容性や相互理解、交流が不可欠

### ⇒信州の強みを活かした移住・関係人口の増加

～暮らし、つながる仲間を増やそう～

★県民の皆さんと長野県の未来を考えました！

(約150回、3000人が参加)

★若者と2050年のありたい姿を考えました！

(HOPE2050若者との県民対話)



©長野県  
アルクマ

令和6年12月23日の「私のアクション！未来の長野創造県民会議(仮称)」※において、決定予定

※戦略を推進するために官民連携で実施する会議

## # 分散→集住へ

## # 楽しいまち # 便利な交通

- ✓ 中山間地域に加え、都市部でも人口密度低下。生活に必要なサービスも維持困難
- ✓ 若者からは「楽しいまち」や「便利な交通」への期待大

### ⇒安心・便利で持続可能な生活圏の整備促進

～県土のグランドデザインを策定・実現しよう～

## # 経営革新

- ✓ これまでの労働集約型ビジネスモデルは維持困難
- ✓ 小規模自治体を中心に職員・財源確保が困難
- ✓ 社会課題解決にソーシャルセクターの役割が重要

### ⇒変革期を乗り越える経営等の革新

- ・付加価値労働生産性の向上
- ・多様な人材の労働参加、省力化投資
- ・地域課題を様々な主体の共創で解決